

PVIの
リーダー育成
MENU

MENU-1 初任リーダー向けテキスト

**リーダーとして
明日から何をすればよいか分かる！**



PVIオリジナルテキスト
リーダーハンドブック
今からはじめようチームの回し“型”
A5サイズ 88ページ ¥3,000(税別)

**ハンドブックにそって
まず一つずつ行動してみる！
チームを回してみる！それがスタート**

- 1 シンプルな5つのステップ**
リーダーに求められるテーマをシンプルな5つのステップに整理。
- 2 行動にうつせる25の“型”**
5つのステップをさらに25個の“型”に分解。“型”…具体的に行動するべきことまた、そのやり方。
- 3 一人で学べるワークブックスタイル**
「考える → 書く → 解説を読む → 職場で実践」を繰り返すことで、「リーダーらしく」なっていく！



(目次ページ)

リーダーハンドブック
今からはじめようチームの回し“型”

守破離 … 2
このハンドブックの対象
ハンドブックの効果的な使い方

はじめに

立ち戻る — 原点回帰 … 7

会社・仕事への思いを再認識する … 8

INDEX

初めて部下を持った方、既に部下がいるが基本から学びなおしたい方向け「**リーダー入門書**」
リーダーになったときに、何をやるべきか全体像を理解していた、という方はほとんどいないのではないのでしょうか。誰からも教わらず、参考書もなく、なんとなく自己流で…という方がほとんど。
このハンドブックはリーダーとしてやるべきことの全体を“型”に分解して解説しています。
型”とは…「守破離」という言葉を聞いたことがありますか？武道や茶道の世界で修行のあり方を説いた言葉です。曰く、まず、師匠に言われたこと、型を「守る」ところから修行が始まる。その後、自分に合った、より良いと思われる型をつくることで既存の型を「破る」。最後は、型から自由になり、型から「離れ」て、自在になることができる。

さあ、ここに書かれている25の“型”を「守る」ことからリーダーの修行を始めましょう！

リーダーハンドブック 今からはじめようチームの回し“型”	INDEX
守破離 … 2	進捗管理する — PDCA … 69
はじめに	型19 PDCAを理解する … 72
立ち戻る — 原点回帰 … 7	型20 自分のPDCAを点検する … 74
会社・仕事への思いを再認識する … 8	型21 Plan 行動計画を立てる … 76
	型22 Do 実行スピードを上げる … 78
	型23 Check [Plan-Do]を検証する … 80
	型24 Action 発想を変える … 82
	型25 まとめ 進捗管理の「回し型」… 84
	情報共有する — 報・連・相 … 53
	型14 ベースを整える（心理面） … 56
	型15 ベースを整える（行動面） … 58
	型16 「お・ひ・た・し」で対応する … 60
	型17 パイプを点検する … 62
	～ 報連相されやすさCHECK!～ … 64
	型18 まとめ 報連相の活性化の「進め型」… 66
	打ち出す — ビジョン・目標 … 39
	型9 ビジョンを描く … 42
	型10 第一目標を設定する … 44
	型11 モノサシをそろえる … 46
	型12 計画を見る化する … 48
	型13 まとめ ビジョンの「打ち出し型」… 50
	聞く — 現状把握 … 23
	型5 メンバーに聞く … 26
	型6 環境を把握する … 32
	型7 チームの目標を把握する … 34
	型8 まとめ リーダーの「聞き型」… 36
	Column
	役割と役割 … 22
	話す力と聞く力 … 38
	「リーダー」の語源 … 52
	チームを回す … 68

→ 別紙(ページサンプル参照)

PVIオリジナルテキスト リーダーハンドブック今からはじめるチームの回し"型"



A5サイズ 88ページ ¥3,000(税別)

1 5つのステップ それぞれの扉ページには
テーマの概要に関する設問

Step 5

Step 5 進捗管理する - PDCA

PDCAとは？
次の中から最もふさわしいものを選んでください。

- Plan (計画) を重視する仕事の進め方
計画・目標があるから目指す方向が分かる、取るべき行動が明確になる！
- Do (実行) を重視する仕事の進め方
行動するから結果がでる、結果の良し悪しが検証できる！
- Check (検証) を重視する仕事の進め方
検証するから課題が見つかる、改善につながる！
- Action (改善) を重視する仕事の進め方
改善するから次の計画・目標が生まれる、仕事がレベルアップする！
- Plan-Do-Check-Actionサイクルを回すこと
を重視する仕事の進め方
計画-実行-検証-改善を順番にやるから仕事がはかどる、成果が高まる！

答えは …▶ 次のページへ

2 扉を開くと、設問の回答と
テーマの概要

Step 5

Step 5 進捗管理する - PDCA

PDCAとは？
次の中から最もふさわしいものを選んでください。

- Plan (計画) を重視する仕事の進め方
計画・目標があるから目指す方向が分かる、取るべき行動が明確になる！
- Do (実行) を重視する仕事の進め方
行動するから結果がでる、結果の良し悪しが検証できる！
- Check (検証) を重視する仕事の進め方
検証するから課題が見つかる、改善につながる！
- Action (改善) を重視する仕事の進め方
改善するから次の計画・目標が生まれる、仕事がレベルアップする！
- Plan-Do-Check-Actionサイクルを回すこと
を重視する仕事の進め方
計画-実行-検証-改善を順番にやるから仕事がはかどる、成果が高まる！

正解：⑤

PDCAとは、
Plan (計画) -Do (実行) -Check (検証) -Action (改善) サイクルの略です。
仕事を計画どおりスムーズに進める手法として、様々な会社や組織で
用いられています。

PDCAの歴史は長く、戦後、品質管理を目的に導入されましたが、今では、
品質管理だけでなく、生産性向上やマネジメントの観点からも有効と
言われています。

PDCAは、リーダーがチームの仕事を進捗管理するうえで、とても心強い
「味方」です。しっかりその基本を身につけましょう。

このテキストを使って… **MENU-2**

初任リーダー研修
… 社内のリーダーを集めて研修

MENU-3

リーダー育成塾
… 少人数のゼミ形式勉強会

MENU-4

貴社オリジナルテキスト作成
… 貴社の求めるリーダー像を盛り込んだ
貴社オリジナルテキストにカスタマイズ

お問合せ・お申込み → info@pvi.jp まで



3 次のページから
"型"をひとつずつ見開きで

Step 5

型 2 4
進捗管理する - PDCA
Action 発想を変える

発想を変えて、再スタートする

できない理由をあげればきりがないし、あげればあげるほどきんぞきんと思えてきます。逆にいうと、すべての条件がそろえることはありません。

Action (改善) で大切なことは、発想を変えることです。正しくない理由ではなく、どうしたらできるかを考える、そのためには、いくつかの方法があります。

1 全部やろうとしない
選択と集中
あれもこれもと手を広げると、計画 (目標) を振り込み、そこに集中して、一つずつ進めていく。そして、それぞれの計画 (目標) 達成を図りましょう。

2 人や体制を変える
できないのは、体制の問題です。体制を変えることも有効な手段です。その際は、誰が責任を、その人の性格、スキル、キャリアなど色々な角度から考えましょう。

3 助けを借りる
自分のチームだけでは限界がある
人数や、メンバーの知識・経験の点から見て、ムリがあるなら チームの外から力を借りることも選択肢の一つです。
ただし、他チームや上司に協力を仰ぐ時は、ただ「お願い」しても協力してもらえません。
その計画 (目標) を達成することが、いかに重要か、お互いにとってメリットがあるかなど、計画 (目標) の目的や成果をしっかりと伝え、協力を引出しましょう (→Step256 P.32)

ワンポイントアドバイス
行き詰ったら発想を「ガラガラボン (入れ替え)」する！

Step 5

型 2 4
進捗管理する - PDCA
Action 発想を変える

発想を変えて、再スタートする

できない理由をあげればきりがないし、あげればあげるほどきんぞきんと思えてきます。逆にいうと、すべての条件がそろえることはありません。

Action (改善) で大切なことは、発想を変えることです。正しくない理由ではなく、どうしたらできるかを考える、そのためには、いくつかの方法があります。

1 全部やろうとしない
選択と集中
あれもこれもと手を広げると、計画 (目標) を振り込み、そこに集中して、一つずつ進めていく。そして、それぞれの計画 (目標) 達成を図りましょう。

2 人や体制を変える
できないのは、体制の問題です。体制を変えることも有効な手段です。その際は、誰が責任を、その人の性格、スキル、キャリアなど色々な角度から考えましょう。

3 助けを借りる
自分のチームだけでは限界がある
人数や、メンバーの知識・経験の点から見て、ムリがあるなら チームの外から力を借りることも選択肢の一つです。
ただし、他チームや上司に協力を仰ぐ時は、ただ「お願い」しても協力してもらえません。
その計画 (目標) を達成することが、いかに重要か、お互いにとってメリットがあるかなど、計画 (目標) の目的や成果をしっかりと伝え、協力を引出しましょう (→Step256 P.32)

ワンポイントアドバイス
行き詰ったら発想を「ガラガラボン (入れ替え)」する！